

島根県の経済動向

平成23年5月分

統 第 1 0 6 号 の 4
平成23年 7月28日

政策企画局統計調査課

— 本県経済は、やや弱い動きが続くなか、一部で持ち直しの兆しがみられる —

生産活動は持ち直しの兆しがみられる。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。個人消費は下げ止まりつつある。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	→	～持ち直しの兆し～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は96.2となり、前年同月比は▲1.8%と3か月連続で前年を下回った。大口電力需要実績は3.2%と18か月連続で前年を上回った。東日本大震災の影響による停滞感が薄くなり、生産活動は、持ち直しの兆しがみられる。
雇用情勢	→	～持ち直しの動きが足踏み～	有効求人倍率は0.82倍と2か月連続で低下したが、新規求人数は18.9%と10か月連続で前年を上回った。所得面では、現金給与総額は5か月連続で前年を下回り、きまって支給する給与も5か月連続で前年を下回った。雇用情勢は、厳しい状況のなか持ち直しの動きが足踏みしている。
個人消費	→	～下げ止まりつつある～	大型小売店販売額は▲3.1%と3か月連続で前年を下回ったが、家電量販店販売額は8.6%と3か月振りに前年を上回った。乗用車新車登録台数は供給面の制約が和らぎ、▲28.2%と減少幅が縮小した。省エネ関連商品を中心に回復の兆しがみられ、個人消費は、下げ止まりつつある。
投資動向	→	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は101.6%と2か月振りに前年を上回り、新設住宅着工戸数も31.2%と4か月連続で前年を上回った。一方、公共工事請負金額は▲47.5%と2か月連続で前年を下回った。投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	→	～倒産件数3件～	企業倒産件数は3件。うち建設業は1件、製造業は1件。
金融情勢	→	～貸出金残高は対前年1.1%増～	銀行預金残高は35か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は9か月連続で前年を上回った。
物 価	→	～対前年0.2%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.5となり、対前年同月比0.2%と2か月連続の上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成23年7月28日公表）		CI先行指数は87.9となり、2か月振りの上昇となった。 CI一致指数は121.4となり、2か月連続の上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成23年6月14日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（23年4～6月期）は▲26.9%ポイントと「下降」超幅が拡大している。 〔先行きについては、翌期（7～9月期）に「下降」超幅が縮小し、翌々期（10～12月期）には「上昇」超に転じる見通しとなっている。〕

経 済 指 標		前年同月比（*を除く）%					
		12月	1月	2月	3月	4月	5月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	94.4	100.3	98.0	93.4	95.5	96.2
	" （原指数）	14.8	6.3	3.0	▲3.5	▲2.1	▲1.8
	大口電力需要実績	10.1	8.7	6.5	2.9	3.1	3.2
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.80	0.78	0.79	0.84	0.83	0.82
	新規求人数	15.4	3.8	15.9	18.1	8.9	18.9
	常用労働者数	▲0.1	▲0.1	0.1	0.4	0.5	0.5
	現金給与総額	12.0	▲1.6	▲0.7	▲1.7	▲1.6	▲1.5
	きまって支給する給与	4.0	▲0.4	▲0.6	▲0.7	▲1.7	▲1.4
	所定外労働時間（製造業）	▲5.2	▲4.4	▲10.0	▲3.3	9.6	9.2
個人消費	大型小売店販売額	▲2.6	▲3.5	0.8	▲9.8	▲0.8	▲3.1
	ホームセンター販売額	1.2	2.3	6.5	7.2	2.0	3.6
	家電量販店販売額	▲15.0	▲16.9	0.2	▲4.3	▲1.6	8.6
	乗用車新車登録台数	▲21.9	▲15.9	▲18.3	▲31.5	▲46.6	▲28.2
	出雲空港利用者数	▲3.0	▲1.2	▲2.9	▲24.7	▲24.0	▲21.8
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	23.8	13.2	50.5	218.0	▲45.9	101.6
	公共工事請負金額	▲7.8	▲11.1	▲9.3	0.1	▲21.8	▲47.5
	新設住宅着工戸数	4.7	▲34.7	37.6	153.2	11.9	31.2
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	1	1	2	7	3	3
	* 負債総額（百万円）	310	40	110	943	276	332
金融情勢	銀行預金残高	1.7	2.2	2.4	2.3	3.3	1.0
	銀行貸出金残高	0.8	1.0	1.2	0.9	1.3	1.1
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	99.5	99.2	99.3	99.9	100.2	100.5
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	79.2	84.5	89.4	92.8	84.2	87.9
	* 景気動向指数（CI一致指数）	113.4	116.2	124.4	105.8	112.1	121.4

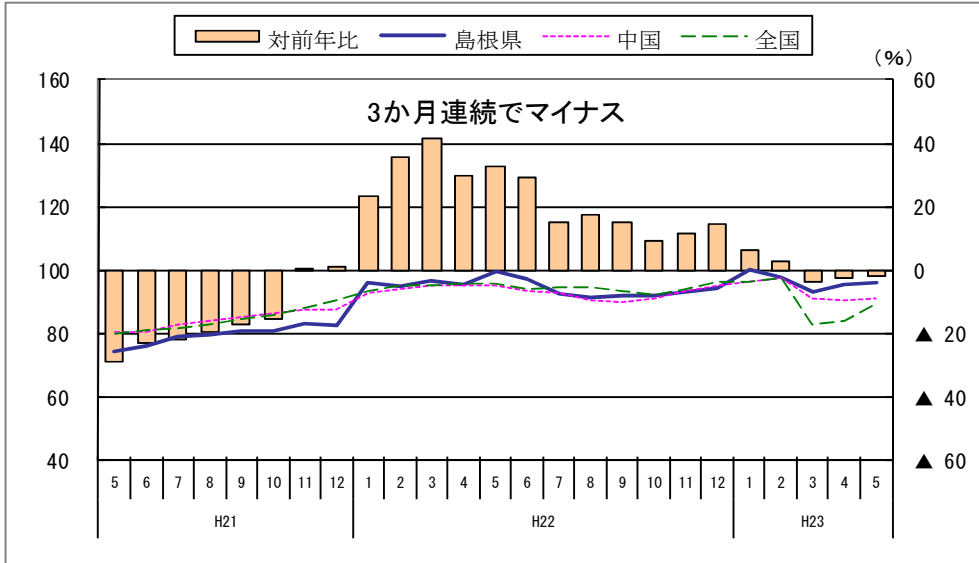
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成23年7月13日
	<p>景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、このところ上向きの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産は、東日本大震災の影響により減少していたが、上向きの動きがみられる。輸出は、上向きの動きがみられる。 企業収益は、増勢が鈍化している。設備投資は、下げ止まりつつある。 企業の業況判断は、東日本大震災の影響による厳しさが残るなど、慎重さがみられる。 雇用情勢は、東日本大震災の影響により、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられ、依然として厳しい。 個人消費は、下げ止まっている。 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、サプライチェーンの立て直しが進み、生産活動が回復していくのに伴い、海外経済の緩やかな回復や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響に加え、海外経済の回復がさらに緩やかになること等により、景気が下振れするリスクが存在する。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」平成23年7月14日
	<p>自動車生産の回復がみられ、企業の設備投資に持ち直しの動きがあるなど、中国地域の経済は横ばいの動き。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生産動向…横ばい 景況感…一部に持ち直しの動き 産業用電力需要…横ばい傾向 物価…上昇傾向 個人消費…緩やかながら持ち直しの動き 設備投資…持ち直しの動き 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き 企業倒産…件数、負債額ともに増加 貿易…持ち直しの動き
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」2011年7月1日
	<p>山陰両県の景気は、持ち直しつつある。すなわち、生産は、供給面の制約が和らいでいることから、持ち直しつつある。個人消費には耐久消費財を中心に持ち直しの動きがみられる。設備投資は持ち直しつつある。住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しの動きがみられる。一方、公共投資は減少している。この間、雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産は、供給面の制約が和らいでいることから、持ち直しつつある。 個人消費は、耐久消費財を中心に持ち直しの動きがみられる。 設備投資は、持ち直しつつある。 公共投資は、減少している。 住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しの動きがみられる。 雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にある。
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」2011年6月28日
	<p>住宅建設は上向きつつあり、東日本大震災の影響により弱含んでいた生産も持ち直しの兆しがみられる。一方、公共投資、個人消費は低調な推移となっており、総じて横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共投資は、低迷が続いている。 設備投資は、全産業で前年度を下回る計画（企業動向調査3月）。 住宅建設は、水準は低いながらも、上向きつつある。 個人消費は、総じて低調な推移となっている。 生産は、東日本大震災の影響により弱含んでいたが、足元では緩やかながらも持ち直しの兆しがみられる。 雇用情勢は、持ち直しの動きはやや伸び悩んでいる。 企業の業況判断は、足元（10年度下期）、製造業ではほぼ横ばい、非製造業では改善しており、全産業でも改善（▲14.9→▲3.9）。先行き（11年度上期）については、製造業、非製造業ともに悪化を予想しており、全産業でも悪化（▲3.9→▲15.3）の見通し（企業動向調査3月）。
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成23年6月6日（四半期ごとに公表）
	<p>東日本大震災の影響もあり、足下では足踏み状態となっている。雇用情勢で緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いているほか、個人消費は弱い動きとなっている。また、生産活動では持ち直していたものの、東日本大震災の影響により、一部に減産の動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費 東日本大震災の影響もあり、弱い動きとなっている 生産活動 持ち直していたものの、東日本大震災の影響により、足下では一部に減産の動きがみられる 雇用情勢 緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いている 公共事業 前年度を上回っている 設備投資 22年度は増加見込み 企業収益 22年度は増益見込み

経済指標の推移

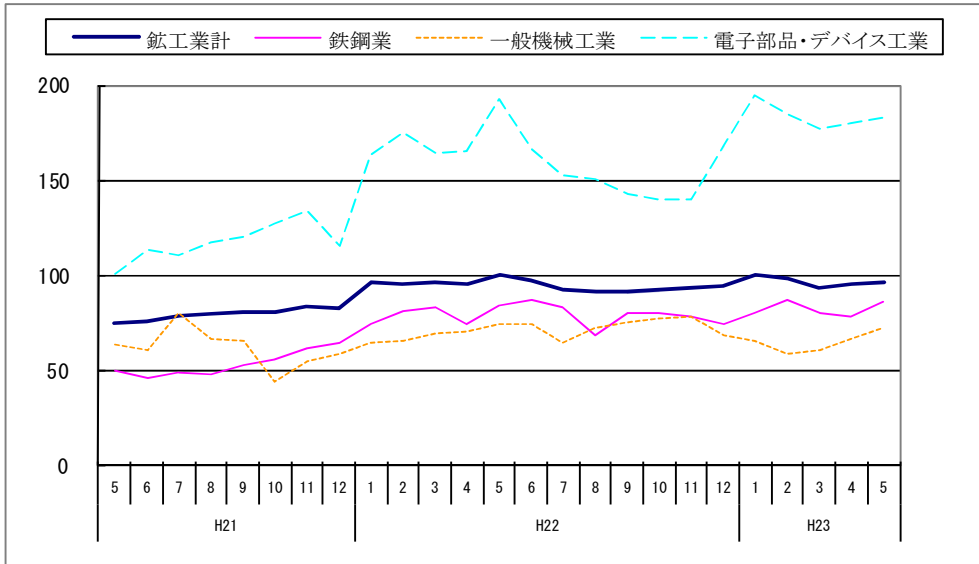
【 生産活動 】 ～持ち直しの兆し～

鋳工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



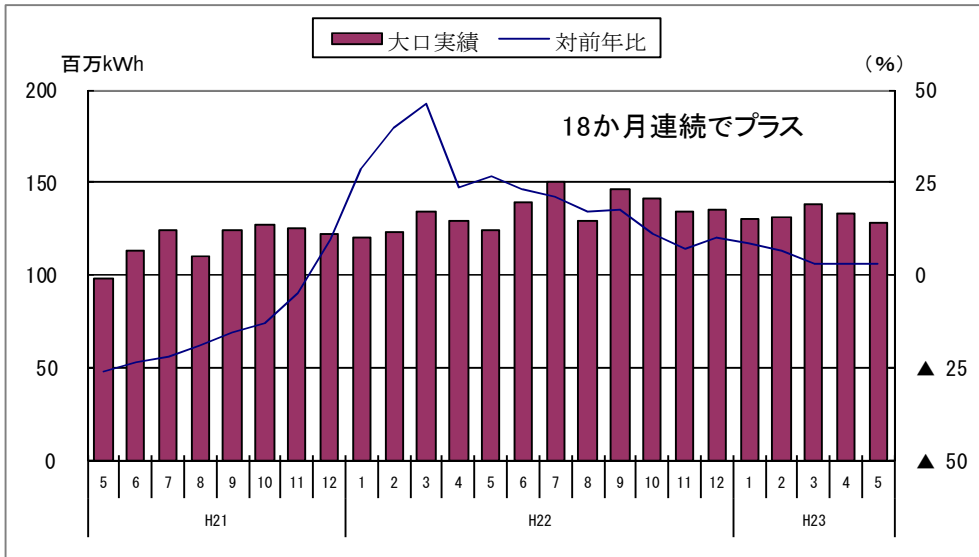
（注）対前年比は、島根県の実指数（県統計調査課、経済産業省）

島根県鋳工業生産指数（業種別）



（県統計調査課）

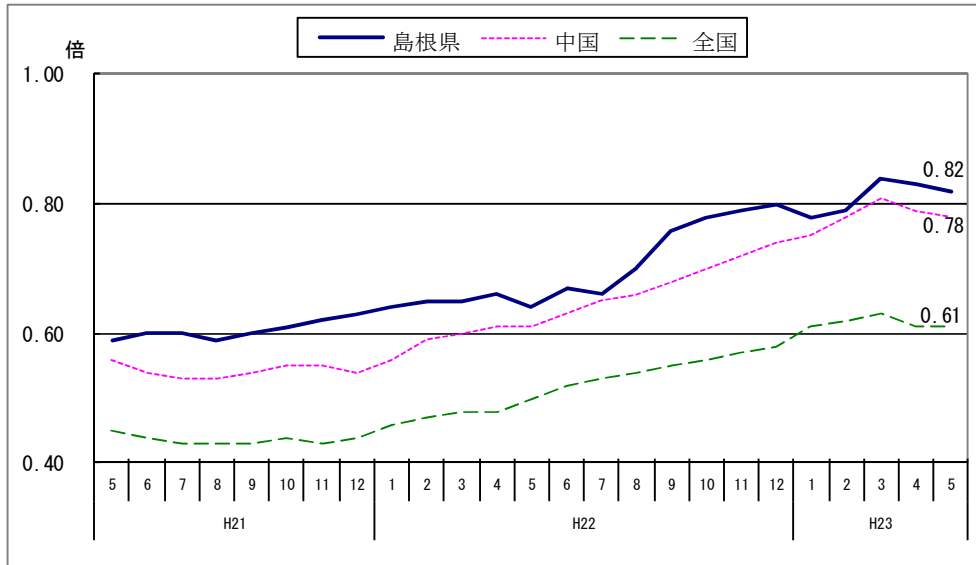
大口電力需要実績



（中国電力株）

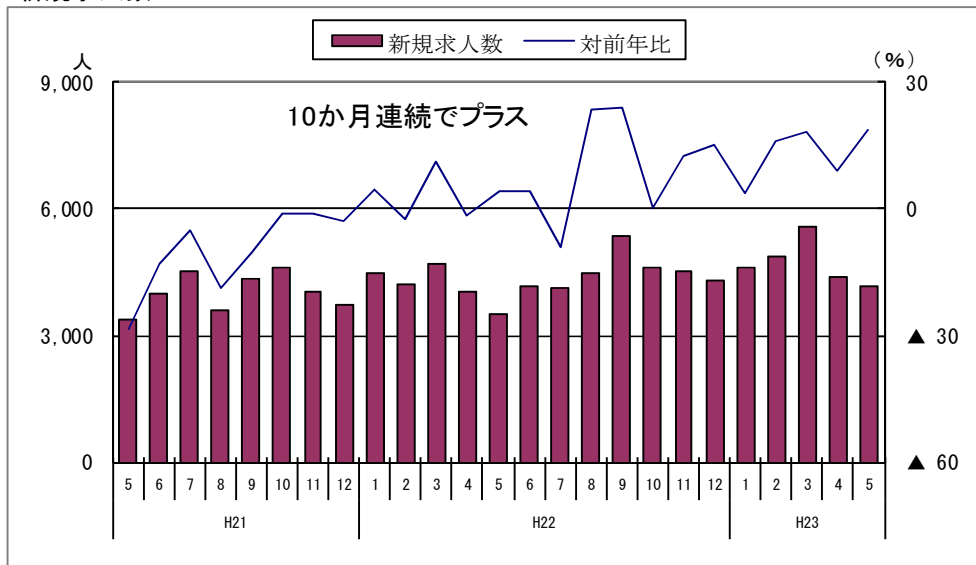
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



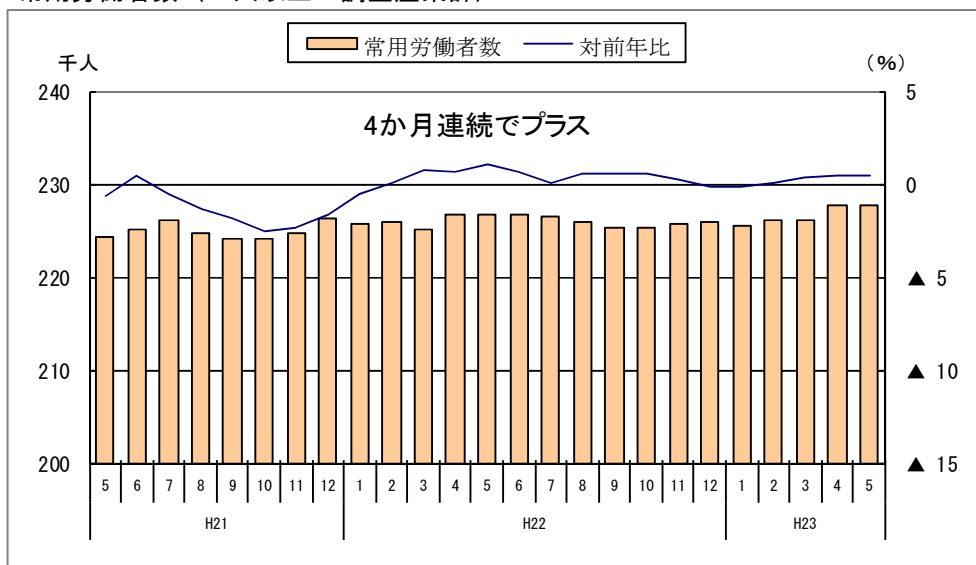
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

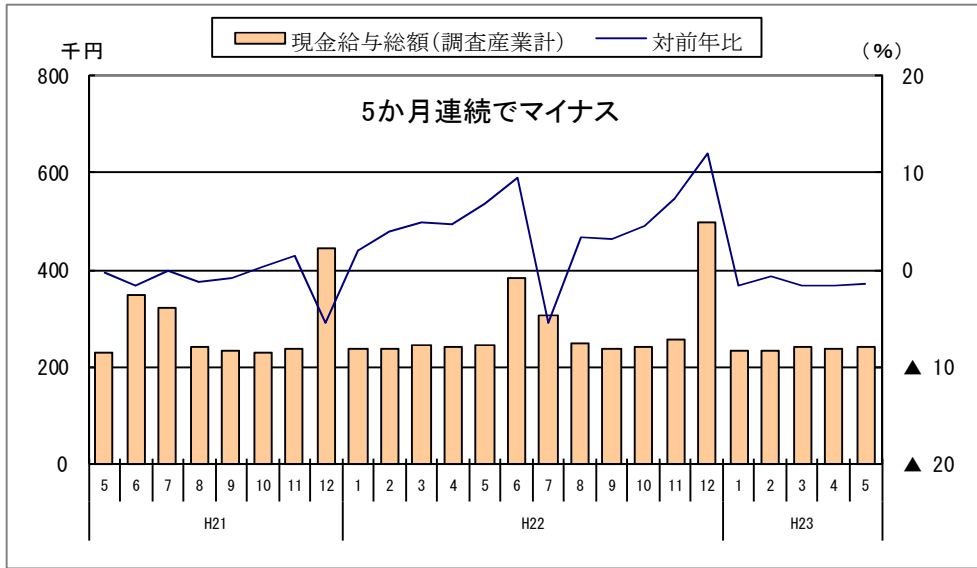
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

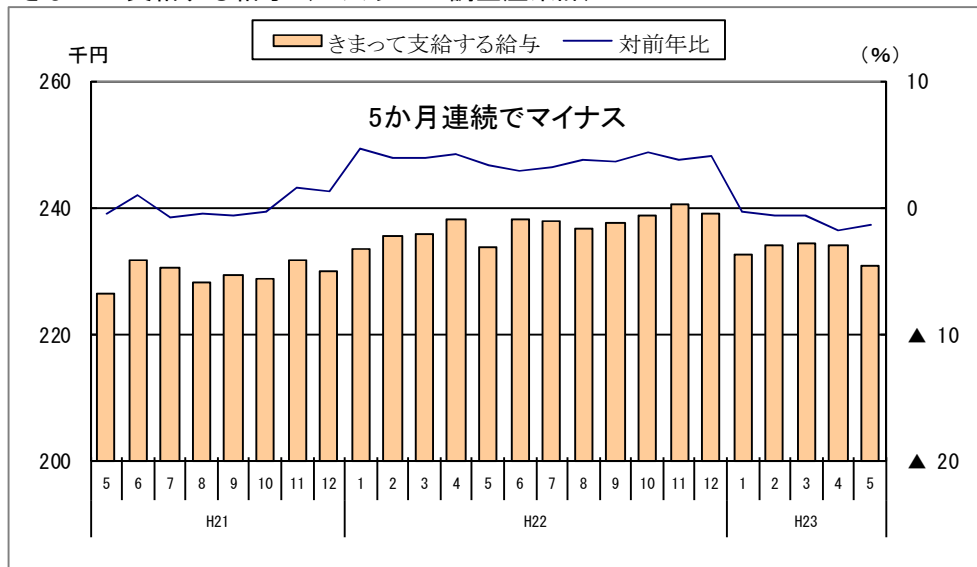
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



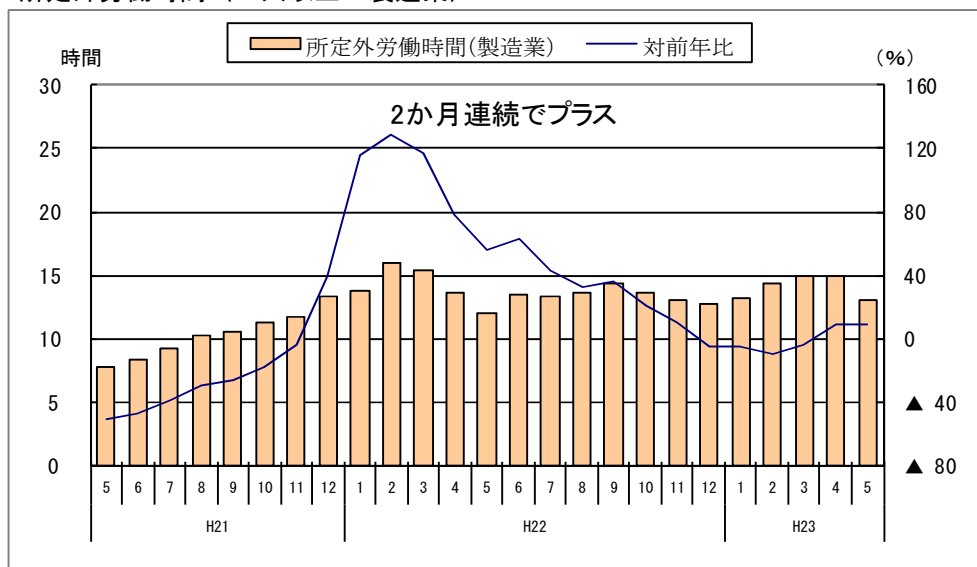
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

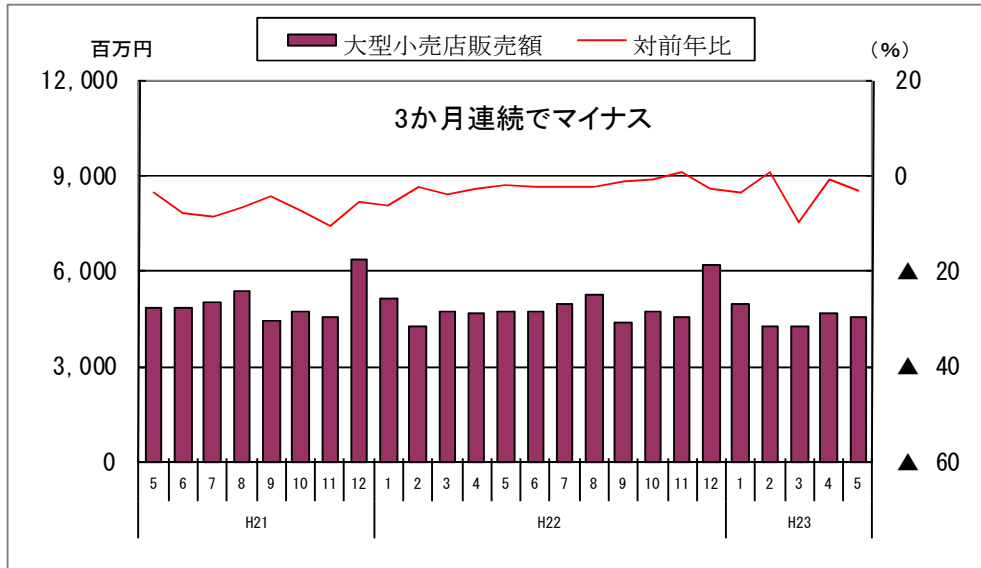
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

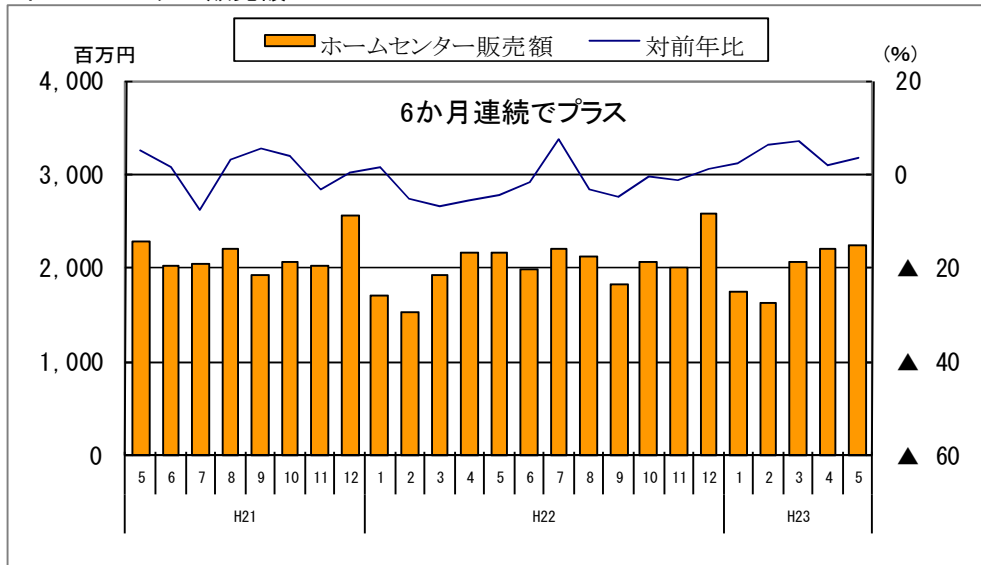
【 個人消費 】 ～下げ止まりつつある～

大型小売店販売額



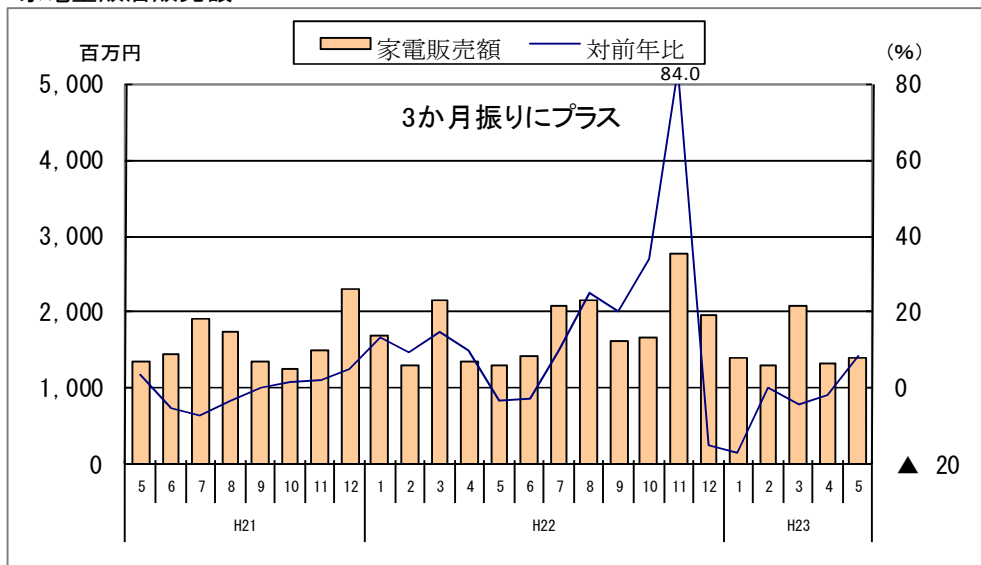
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

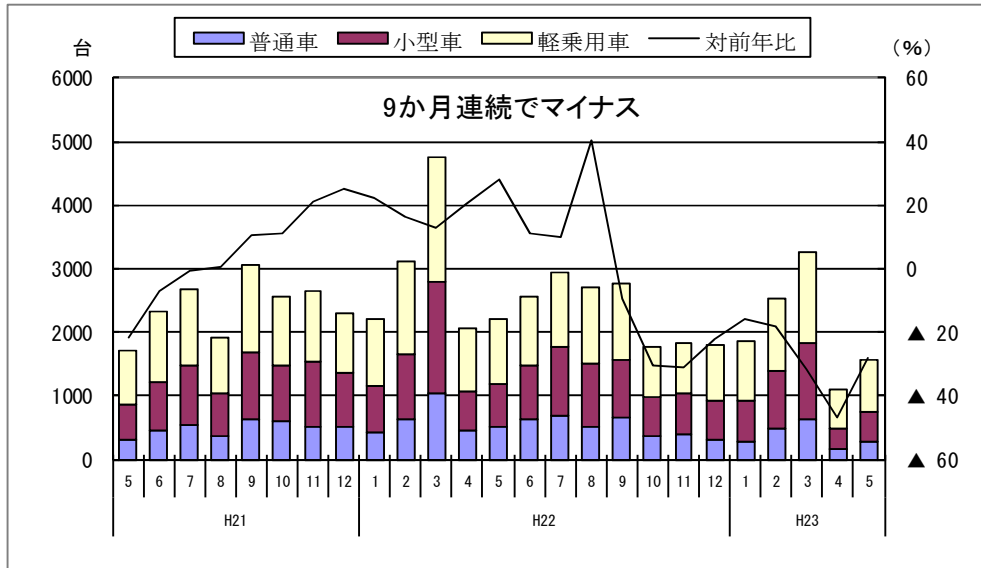
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

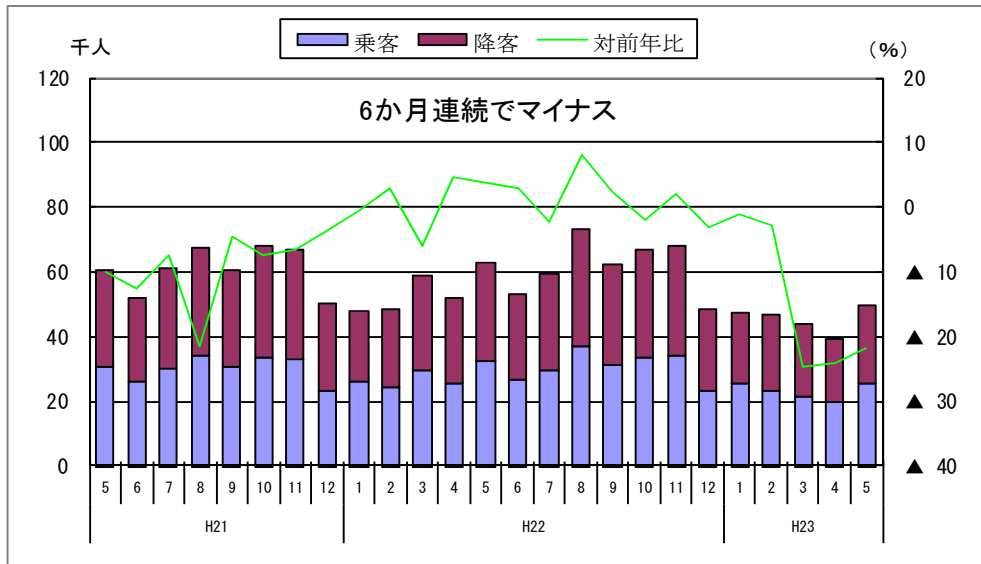
【 個人消費 】 ～下げ止まりつつある～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

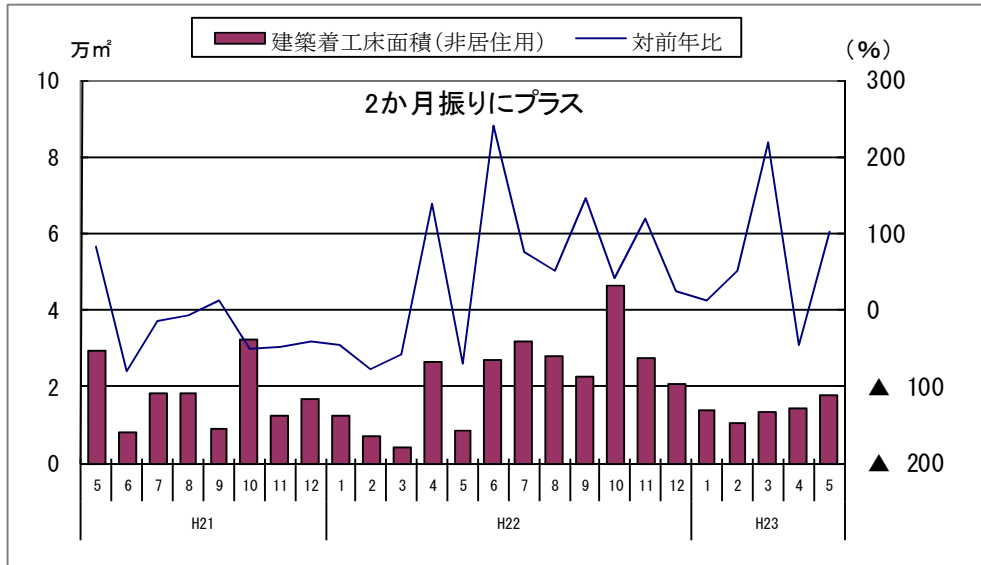
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

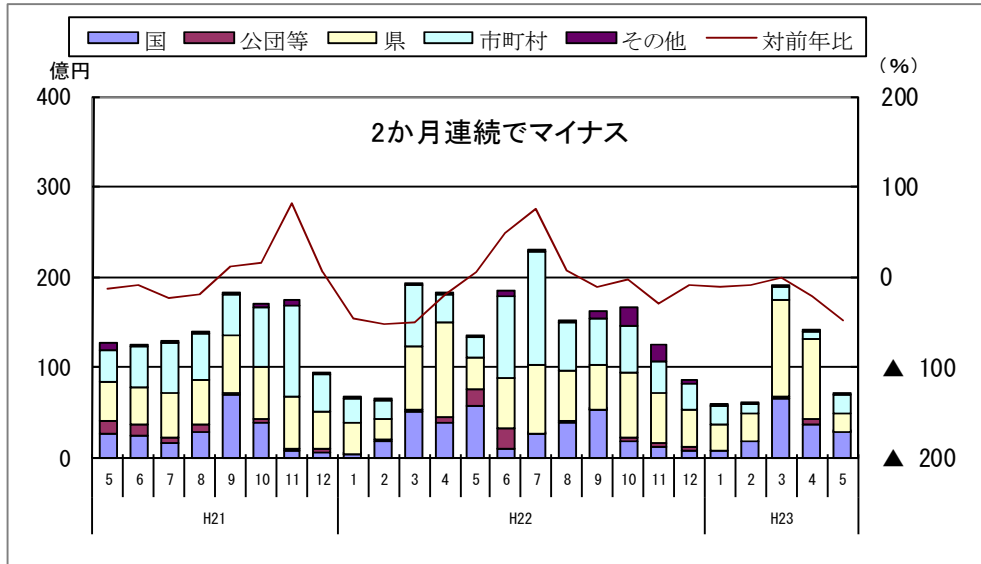
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



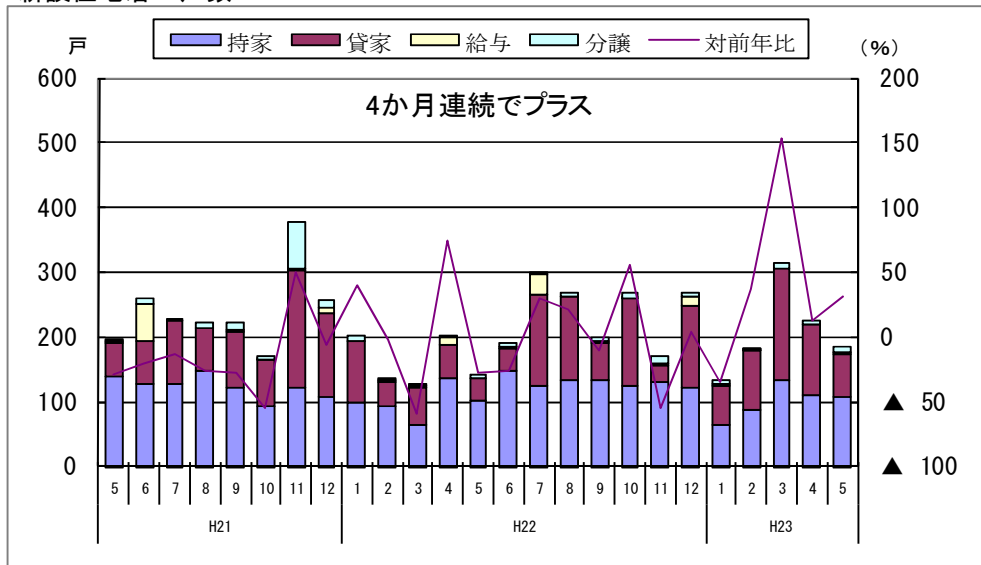
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

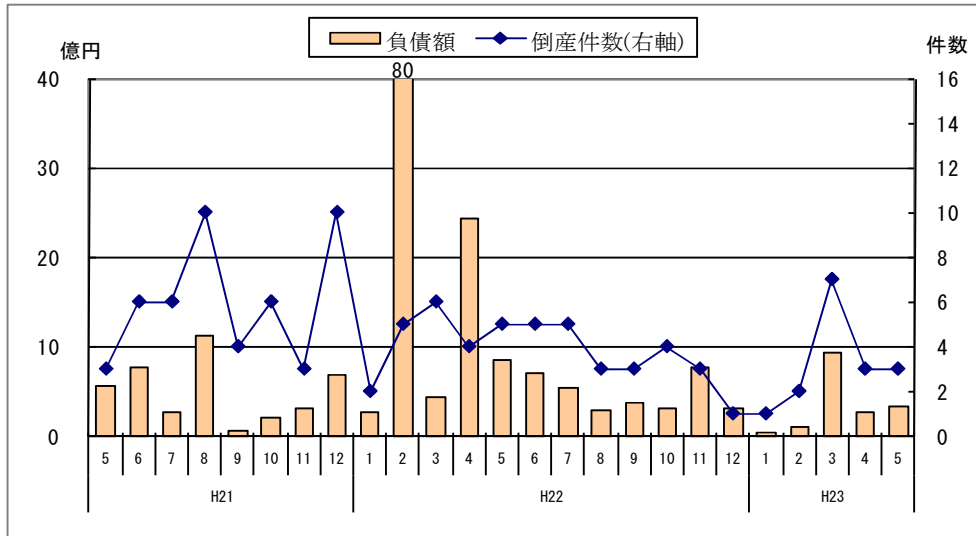
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数3件～

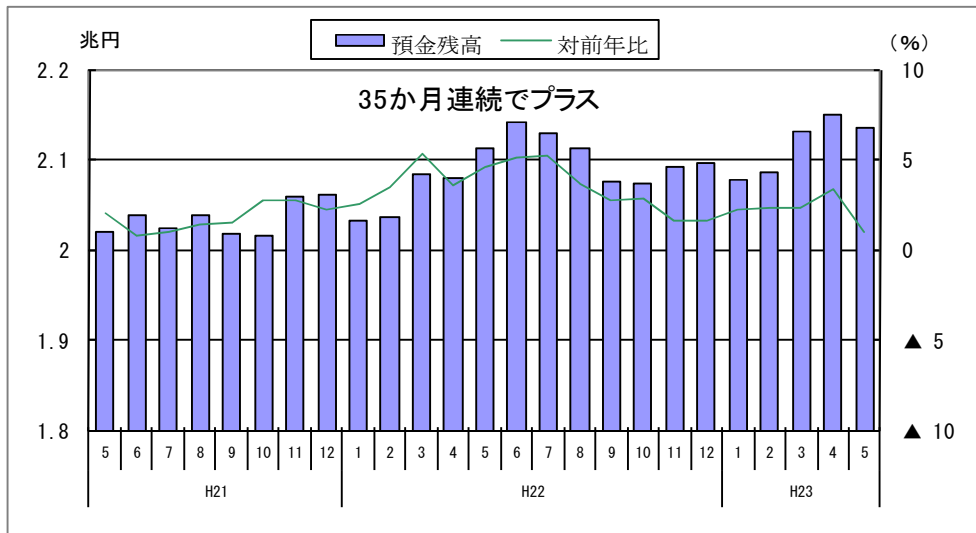
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

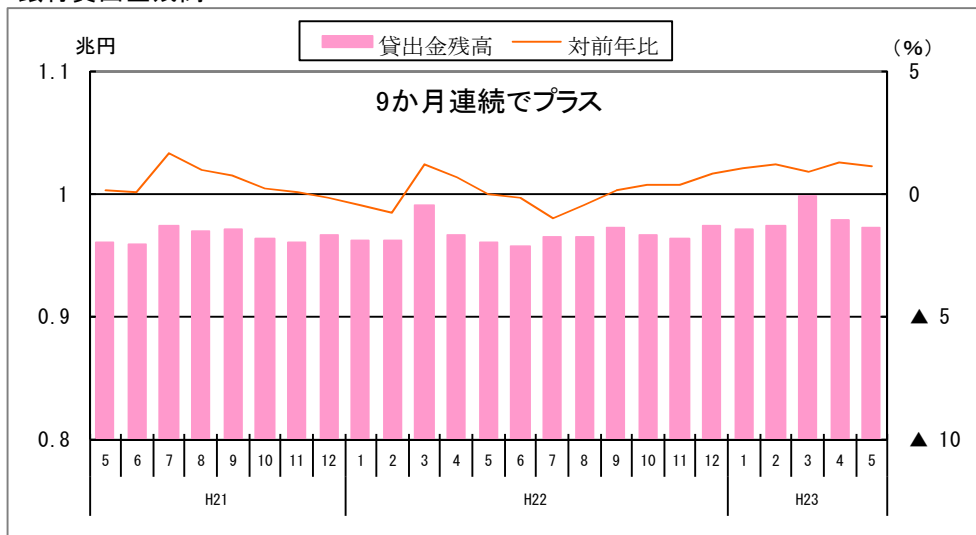
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年1.1%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

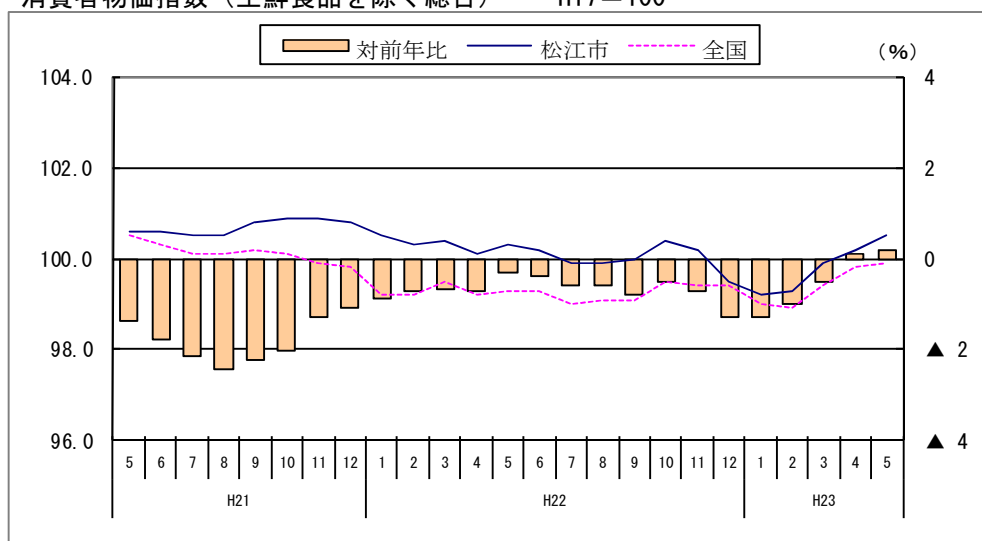
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.2%上昇～

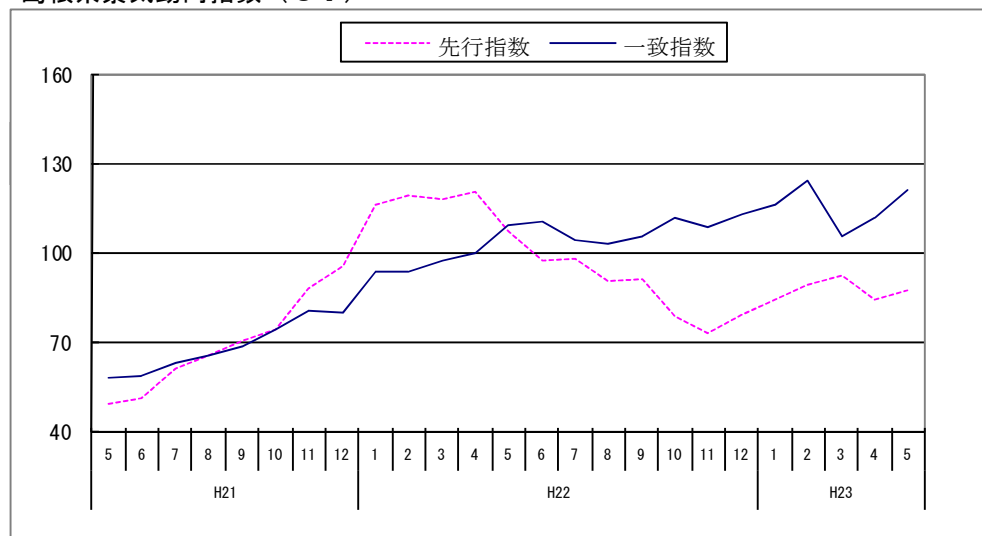
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成23年6月14日 財務省松江財務事務所)
平成23年 4～6 月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	23年1～3月 前回調査	23年4～6月 今回調査	23年7～9月 見 通 し	23年10～12月 見 通 し
全 産 業	▲ 18.1	(1.9) ▲ 26.9	(1.9) ▲ 6.7	2.9
製 造 業	▲ 5.9	(11.8) ▲ 30.3	(5.9) ▲ 6.1	24.2
非製造業	▲ 23.9	(▲2.8) ▲ 25.4	(0.0) ▲ 7.0	▲ 7.0
大 企 業	▲ 50.0	(12.5) 0.0	(0.0) ▲ 12.5	12.5
中堅企業	▲ 35.1	(5.4) ▲ 16.7	(2.7) 8.3	11.1
中小企業	▲ 3.3	(▲1.7) ▲ 36.7	(1.7) ▲ 15.0	▲ 3.3

※ () 書きは、前回 (23年1～3月期) 調査時の見通し。